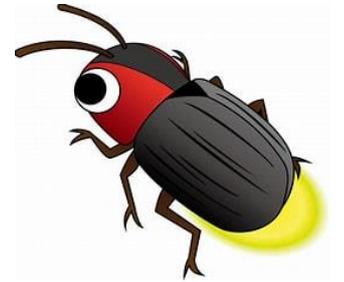




教育目標： 郷土に誇りを持ち 未来を拓く 心豊かな子どもの育成  
～夢と目標 努力と挑戦 自信と誇りを身に付けた子どもを育てる～

## 4年生が上庄ホタル祭りの スタッフでがんばりました



5月18日(土)午前9時30分から、上庄ホタル祭りのスタッフとして参加しました。毎年、4年生が総合的な学習の時間に、地域のゲストティーチャーからホタルについて学び、9月にホタルの幼虫の放流を行っています。ホタル祭り実行委員会であります上庄魅力化推進委員会 緒方会長のご協力のもと、4年生のボランティアスタッフ参加ができました。



事前にボランティア募集で申し込みがありました22人で、土手の一番上のイルミネーション飾りを行いました。4年生に参加した理由を聞くと「ホタルを見に来た人を楽しませたいから」と返ってきました。

当日は、合志市広報担当や熊本日日新聞社からの取材もあり、子どもたちは意欲的に活動していました。途中、地域の方からスイカの差し入れや上庄魅力化推進委員会からお土産ももら



い、子どもたちの頑張りに感謝されていました。

合志小校区は地域の方々からのすばらしいご支援のおかげで、子どもたちに生きる力を身に付けさせることのできる教育が充実しています。今後は、子どもたちが地域に出かけ、地域のために活動する地域貢献活動にも力を入れていきたいと思っています。地域と学校がWIN WINの関係となるよう今後もご支援をお願いします。

令和6年(2024年)5月20日月曜日 県内

「キラキラと未来もかがやく上庄」の文字が浮かび上がったホタル祭りのイルミネーションは18日、合志市



待望の祭り 飾り付け 合志小児童



合志市上庄の竹迫城跡公園一帯で18日夜、ホタルとイルミネーションを同時に見せしむ「ホタル祭り」が始まった。合志小の児童が初めてイルミネーションの飾り付けに参加し、盛り上げに一役買った。

地域づくり団体「上庄魅力化推進委員会」のメンバーが公園周辺の東谷川と通津川の美化活動やゲンジボタルの幼虫の飼育を続け、祭りは10日。

今回は4年生児童が、地域貢献活動として、推進委員のメンバーと一緒に飾り付けに挑戦。細の網面に電飾のネットを掛ける作業に行きついた。

午後7時半から17時30分まで、尾にキラキラと光る飾りがあり、声と拍手が上がった。可憐な姿が、自分たちが飾ったイルミネーションをみんなに見てもらってうれしい。前田委員長は「大変だったけど、友達との思い出になった」と話した。

18日、合志市

電飾は18日までの午後7時半～9時半に点灯する。ホタルは6月まで見られるという。(熊田宏美)



熊本日日新聞から

\*合志小学校ホームページにも、子どもたちの頑張りを紹介しています。ぜひご覧ください。